

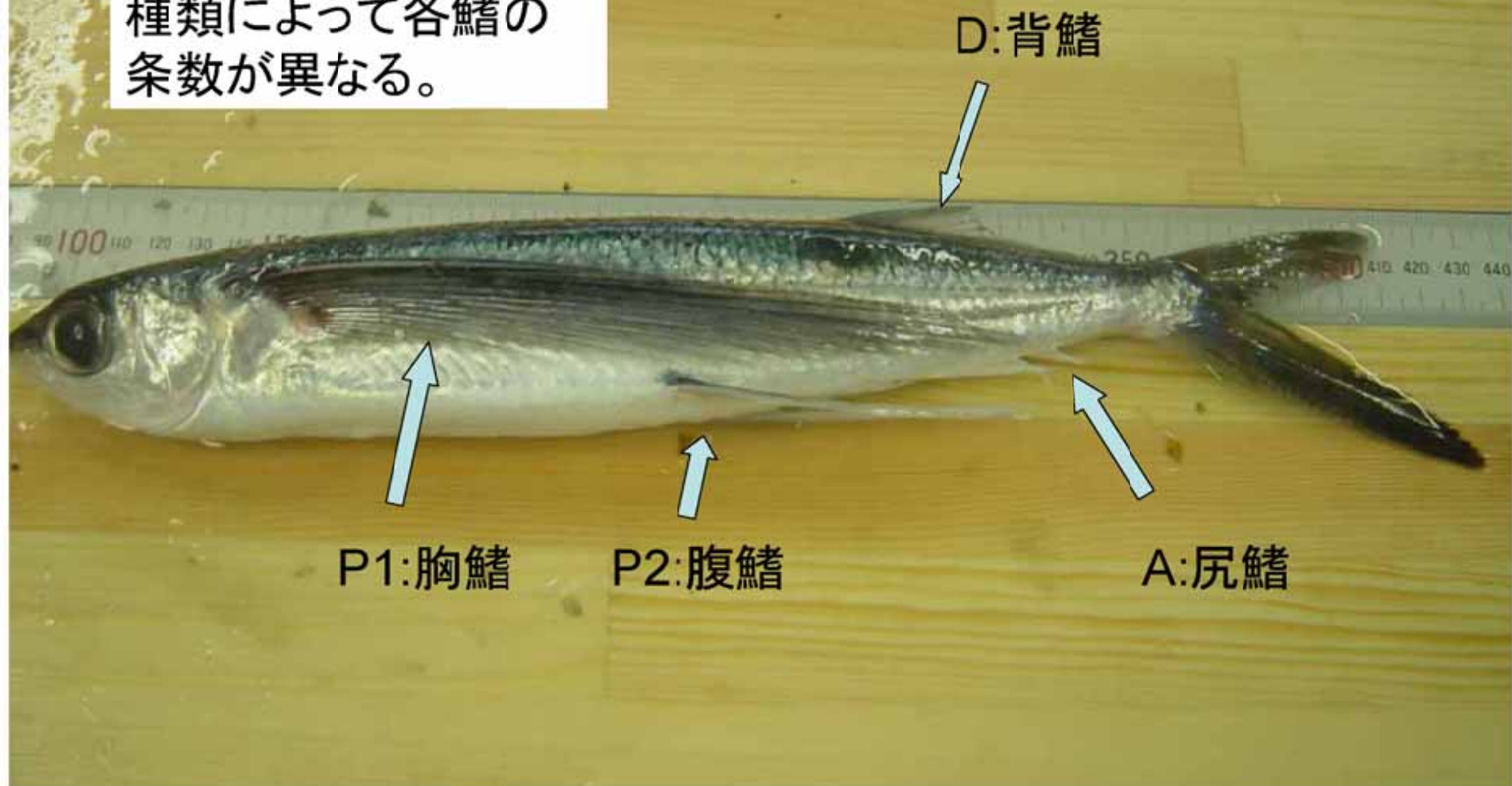
鹿児島県で水揚げされる トビウオ類の写真

目 次

1	測定部位	P 2 ~ 4
2	トビウオ分類表	P 5 ~ 6
3	トビウオ類写真	
(1)	ハマトビウオ	P 7 ~ 8
(2)	トビウオ	P 9 ~ 10
(3)	ツクシトビウオ	P 11 ~ 13
(4)	ホソトビウオ	P 14 ~ 17
(5)	ホソアオトビ	P 18 ~ 20
(6)	オオメナツトビ	P 21 ~ 22
(7)	チャバネトビウオ	P 23
(8)	カラストビウオ	P 24
(9)	アヤトビウオ	P 25 ~ 27
(10)	オオアカトビ	P 28 ~ 30
(11)	アカトビ	P 31 ~ 33
(12)	マトウトビウオ	P 34 ~ 36
(13)	バショウトビウオ	P 37 ~ 39
(14)	ツマリトビウオ	P 40 ~ 41
(15)	アリアケトビウオ	P 42 ~ 43
4	各トビウオ類の出現時期	P 44 ~ 59

測定部位

種類によって各鰭の
条数が異なる。



測定部位

種類によって背鰭前方鱗数が異なる。



測定部位

種類によって側線有孔鱗数が異なる。

LL: 側線有孔鱗数

トビウオ分類表－1

○ よく見る種類
○ 希に見る種類

	サヨリトビウオ	クビレサヨリ	イダテナトビウオ	ハゴロモトビウオ	ツマリトビウオ	バショウトビウオ	ダルマトビウオ	サガトビウオ
D: 背鰭	13～15	12～15	13～15	12～14	11～13	9～11	10～11	10～11
A: 尻鰭	14～16	14～15	13～14	12～14	13～14	10～12	8～9	8～10
P1: 胸鰭	11～13	11～13	13～15	14～16	12～14	12～14	16～18	16～18
P2: 腹鰭	6	6	6	6	6	6	6	6
S: 背鱗数	28～33	28～34	17～20	18～22	21～25	16～20	26～27	25～29
LL: 側線鱗数			43～48	40～50	43～50	38～40	44～46	46～51
分布	銚子以南 の黒潮域	三重以南 琉球近海	全太平洋 の暖海域	太平洋の 熱海域 インド洋	太平洋の 熱海域 インド洋	太平洋の 熱海域 インド洋	西太平洋 の熱海域 尖閣諸島	南日本 尖閣諸島 西太平洋
	ニゾトビウオ	ホソアオビ	オキトビ	オオノキトビ	アヤトビウオ	オオアカビ	アカビ	マトウトビウオ
D: 背鰭	10～12	9～12	10～12	11～12	11～13	12～14	13～15	12～14
A: 尻鰭	11～13	10～13	11～12	10～12	7～9	9～11	9～11	10～11
P1: 胸鰭	16～19	15～17	17～20	18～20	14～16	13～14	13～14	14～15
P2: 腹鰭	6	6	6	6	6	6	6	6
S: 背鱗数	30～34	31～36	28～32	29～31	25～28	38～42	32～36	26～29
LL: 側線鱗数	50～55	51～56	50～54	50～53	45～48	56～59	55～58	46～50
分布	琉球 小笠原	黒潮暖流 西太平洋 の暖海域	全太平洋 の亜熱帯	小笠原 西太平洋 の熱帯	房総以南 ～台湾東	琉球以南 西太平洋 の熱帯	伊豆～ 琉球	琉球以南

トビウオ分類表－2

○ よく見る種類
○ 希に見る種類

	サンゾダマシ	オゾロビ	トビウオ	ハマトビウオ	オオメツツビ	アリアケトビウオ	ホソトビウオ
D:背鰭	12～14	14～16	10～12	12～14	12～14	12～14	11～14
A:尻鰭	9～11	9～11	9～11	10～11	10～11	8～10	8～10
P1:胸鰭	12～19	13～16	16～17	14～16	14～16	16～18	15～17
P2:腹鰭	6	6	6	6	6	6	6
S:背鱗数	23～27	25～26	33～37	40～47	28～34	30～35	31～35
LL:側線鱗数	43～47	46～51	52～57	61～68	49～56	53～56	51～55
分布	房総以南 の暖海域	東北～ 琉球	南日本 台湾東部	東シナ海	伊豆～ 琉球 小笠原	伊豆 台湾	津軽以南

	ツクシトビウオ	ヒメアカビ	ウチダトビウオ	イマイトビウオ	シロフキトビウオ	カラストビウオ	チャバネトビウオ
D:背鰭	12～14	13～14	10～12	11～13	12～14	12～15	13～14
A:尻鰭	9～11	9～10	7～9	8～10	9～11	9～10	10～11
P1:胸鰭	15～16	14～15	14～15	14～16	15～17	12～14	13～14
P2:腹鰭	6	6	6	6	6	6	6
S:背鱗数	30～35	25～28	28～32	26～32	25～35	35～40	29～34
LL:側線鱗数	52～57	44～46	45～48	46～52	51～55	51～57	48～55
分布	北海道以南	琉球以南 の熱帯	房総以南	九州近海 東シナ海	黒潮域 琉球 小笠原	太平洋 熱帯域	黒潮域 琉球 インド洋

ハマトビウオ(*Cypselurus pinnatibarbatus japonicus*)



- 特徴**
- ・体長50cm程度と、トビウオ類では最大。
 - ・小笠原諸島から来遊し、熊毛、南薩で12月～4月に漁獲される
 - ・大トビ、カクトビなどと呼ばれ、ポピュラーなトビウオ。

ハマトビウオの特徴



トビウオ (Cypselurus agoo agoo)



- 特徴**
- ・体長35cm程度。
 - ・ツクシトビウオと一見して見分けが難しい。(胸鰭の第何条から分枝するかで判別する)
 - ・台湾～日本沿岸に分布し, 熊毛, 奄美で4月～12月に漁獲される

トビウオ (Cypselurus agoo agoo) の胸鰭の特徴



ツクシトビウオ

(*Cypselurus heterurus doederleini*)



ツクシトビウオ



- ・体長30cm程度。
- ・日本で最もポピュラーなトビウオの1種

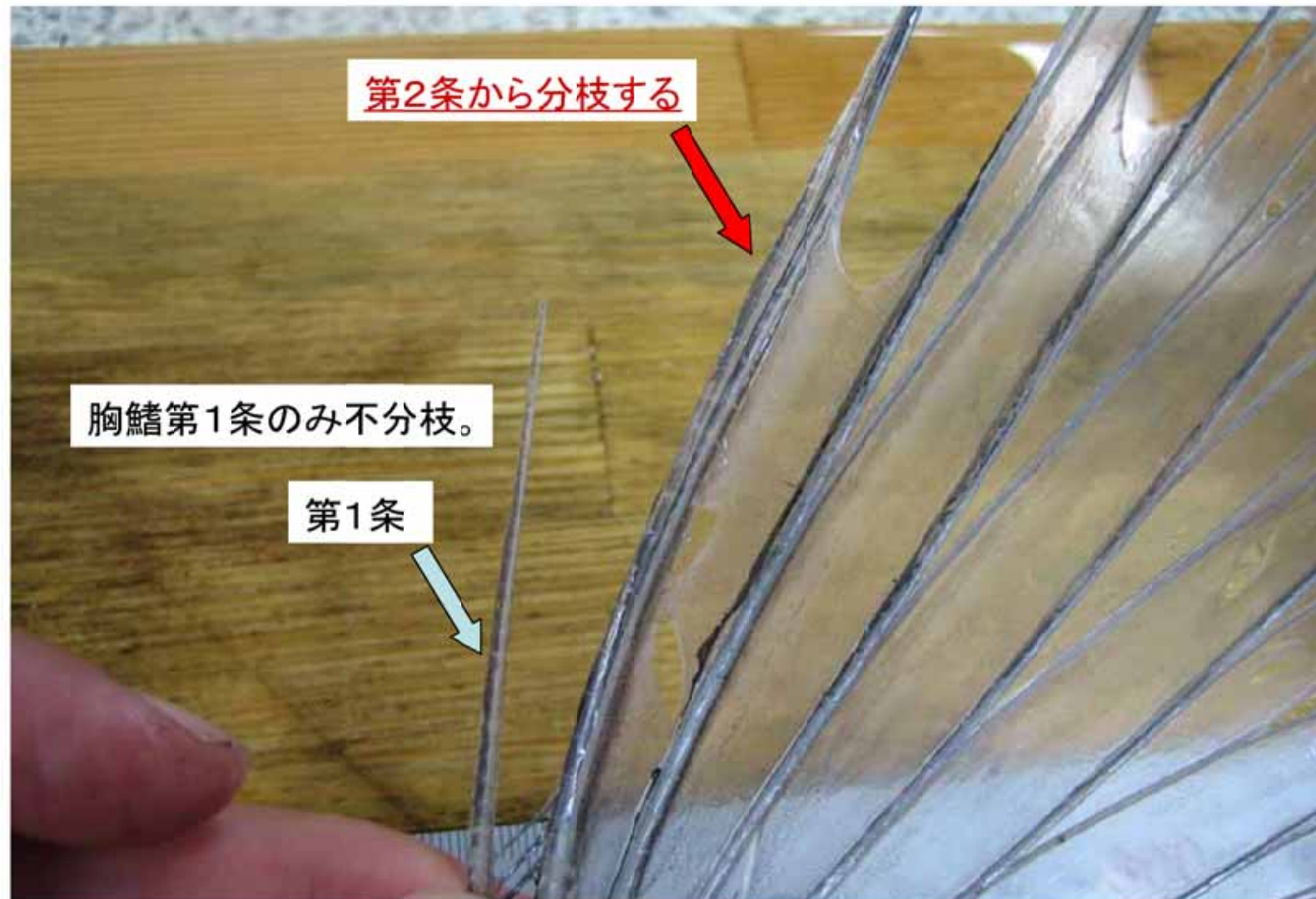
漁獲時期

- ・県本土及び熊毛: 4月～7月 （十島, 与論では確認されていない）

分布

- ・北海道以南の温暖域 （長崎では, 9～10月に幼魚をアゴダシに使う）

ツクシトビウオの胸鰭の特徴



ホソトビウオ (Cypselurus hiraii Abe)



ホソトビウオ



- ・体長20cm程度。
- ・ツグシトビウオと並んで日本でポピュラーなトビウオの1種

漁獲時期

- ・県本土及び熊毛: 4月～8月

分布

- ・北海道以南～台湾（ただし、十島、与論では確認されていない）

ツクシトビウオ, ホソトビウオ



ツクシトビウオ

} ホソトビウオ

両者の胸鰭条数, 背鰭条数, 尻鰭条数はほぼ同じのため, 一見して区別は難しい。



サイズで区別

ツクシトビウオは全長30cm程度, ホソトビウオは全長20cm程度



ツクシトビウオの幼魚は, ホソトビウオと見間違えないか？





ツクシビウオの幼魚とホソビウオの相違



(ツクシビウオの幼魚)



(ホソビウオ)

ツクシビウオ幼魚は胸鰭に透明帯があるため、
同サイズのホソビウオと区別できる

ホソアオトビ (*Hirundichthys oxycephalus*)



特徴

- ・体長20～25cm程度
- ・胸鰭が不明瞭な淡色を呈する。幼魚期は胸鰭は黒色
- ・琉球列島南方から来遊し、主に熊毛で7～8月に漁獲される

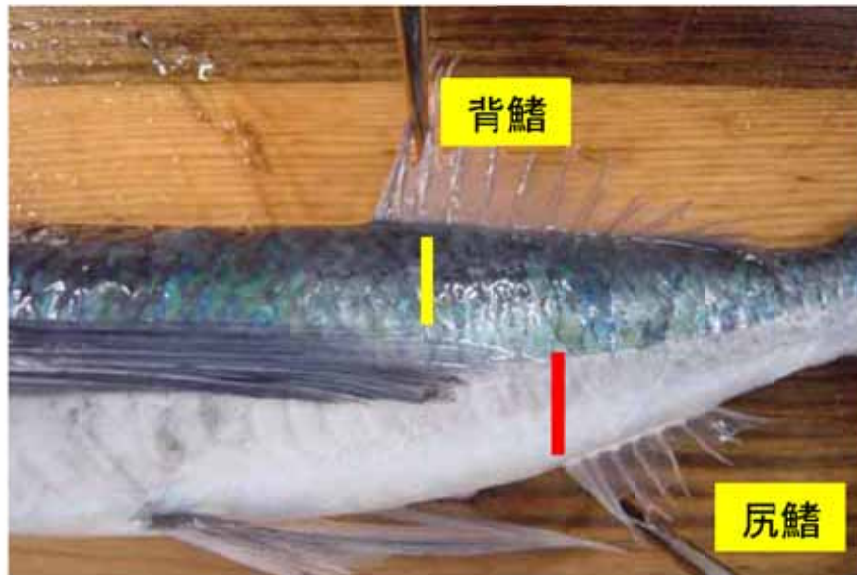
ホソビウオとホソアオトビ



非常に似ている！！



ホソビウオとホソアオトビの相違



(ホソビウオの尻鰭の位置)

尻鰭は背鰭第3条
より後方



(ホソアオトビの尻鰭の位置)

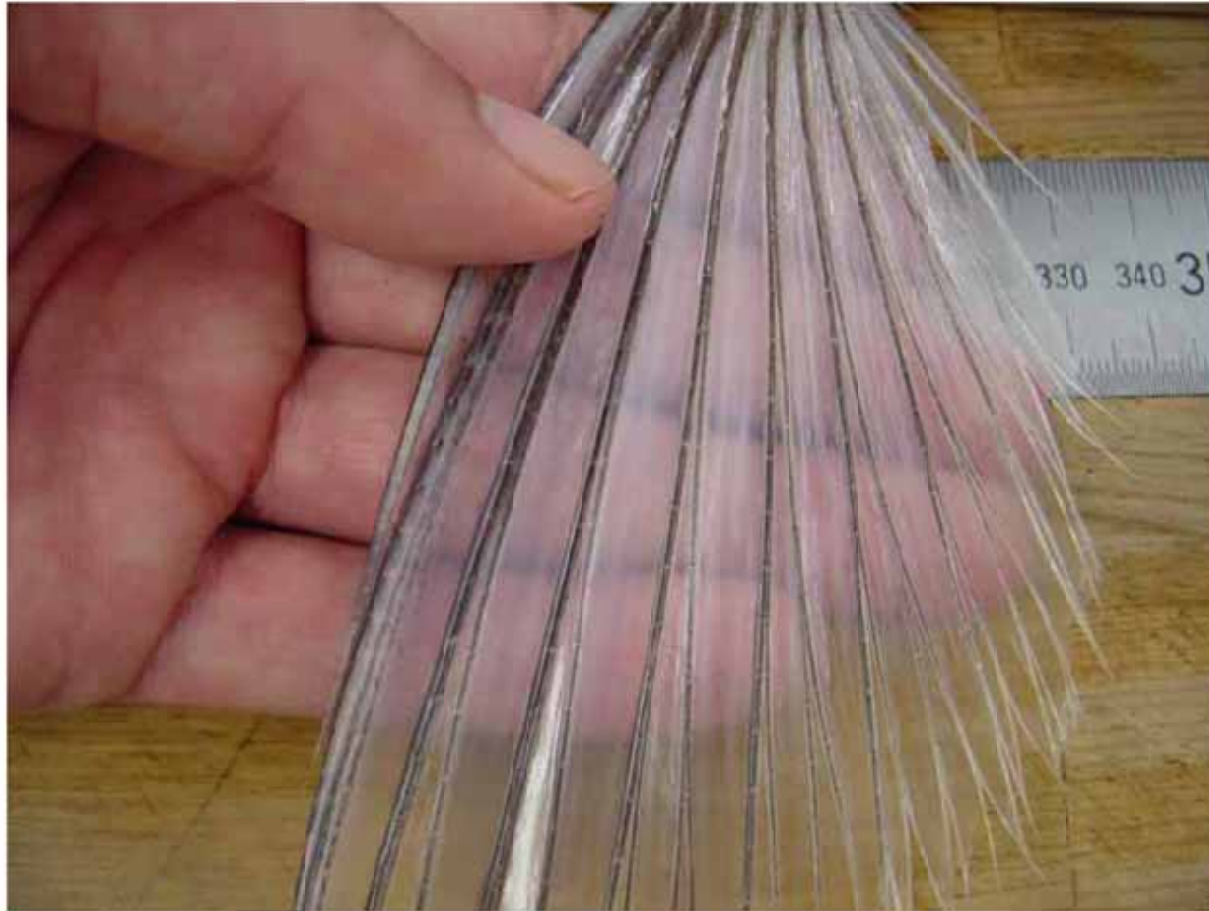
尻鰭第1条は背鰭第3条
より前方

オオメナツトビ (*Cypselurus antoncichi*)



- 特徴**
- ・体長35cm程度， 胸鰭が透明～乳白色を呈し，模様がない
 - ・主に熊毛，奄美で6～9月に漁獲される
 - ・琉球列島南方から来遊する

オオメナツトビの胸鰭



透明～乳白色を呈するのが特徴

チャバネトビウオ(*Cypselurus spilonotopterus*)



特徴

- ・体長30～40cm程度， 胸鰭は全体的に濃い赤紫褐色を呈する
- ・琉球列島南方から来遊し，熊毛，奄美で6月～8月に漁獲される

カラストビウオ(Cypselurus cyanopterus)



特徴

- ・体長30～40cm程度， 胸鰭は全体的に濃い青褐色を呈する
- ・琉球列島南方から来遊し，熊毛，奄美で6月～8月に漁獲される

アヤトビウオ(Cypselurus poecilopterus)



特徴

- ・体長15～20cmの小型のトビウオ
- ・胸鰭は黄色を呈し、基部まで大型の黒班が並ぶ
- ・琉球列島南方から来遊し、県内で5～10月に漁獲される

アヤトビウオの特徴



アヤトビウオの特徴ー2



尻鰭の条数が7～9本。
マトウトビウオ, オオアカトビより条数が少ない。

オオアカトビ (Cypselurus stuttoni)



オオアカトビ



特徴

- ・体長35cm程度
- ・胸鰭は赤みを帯び、小さく明瞭な黒斑が散在する。
- ・琉球列島南方から来遊し、奄美で6～7月に漁獲される

オオアカトビの特徴



背鰭前方鱗数が38~42枚

アカトビ (*Cypselurus atrisignis*)



アカトビ



特徴

- ・体長30cm程度
- ・胸鰭は赤みを帯び、先端に集中して黒斑が散在する。希に黒斑が2～3個しかない個体もある。
- ・琉球列島南方から来遊し、十島、奄美で6～7月に漁獲される

アカトビの特徴



マトウトビウオ (Cypselurus spilopterus)



マトウトビウオ



特徴

- ・体長25cm程度
- ・胸鰭は赤みを帯び、黒斑あり、先端が黒色に縁どられている。
- ・琉球列島南方から来遊し、奄美で6～8月に漁獲される

マトウトビウオの特徴



バショウトビウオ(Parexocoetus mento mento)



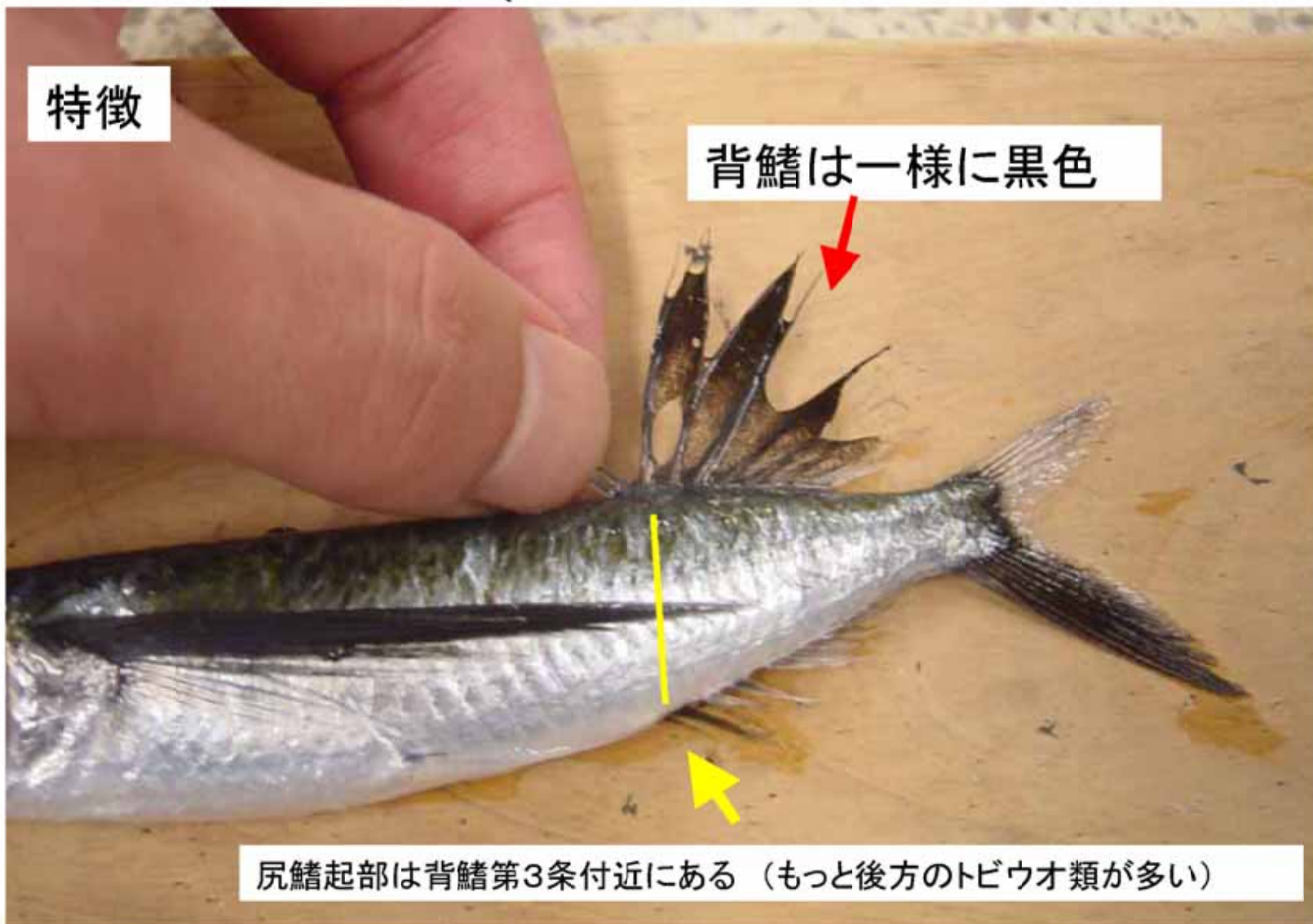
特徴

- ・体長12～15cmの小型のトビウオ
- ・胸鰭は暗色, 背鰭は黒色を呈する。
- ・熱帯, 亜熱帯に分布し, 希に南日本に出現する。

バショウトビウオ(Parexocoetus mento mento)

特徴

背鰭は一様に黒色



尻鰭起部は背鰭第3条付近にある（もっと後方のトビウオ類が多い）

バショウトビウオ(Parexocoetus mento mento)



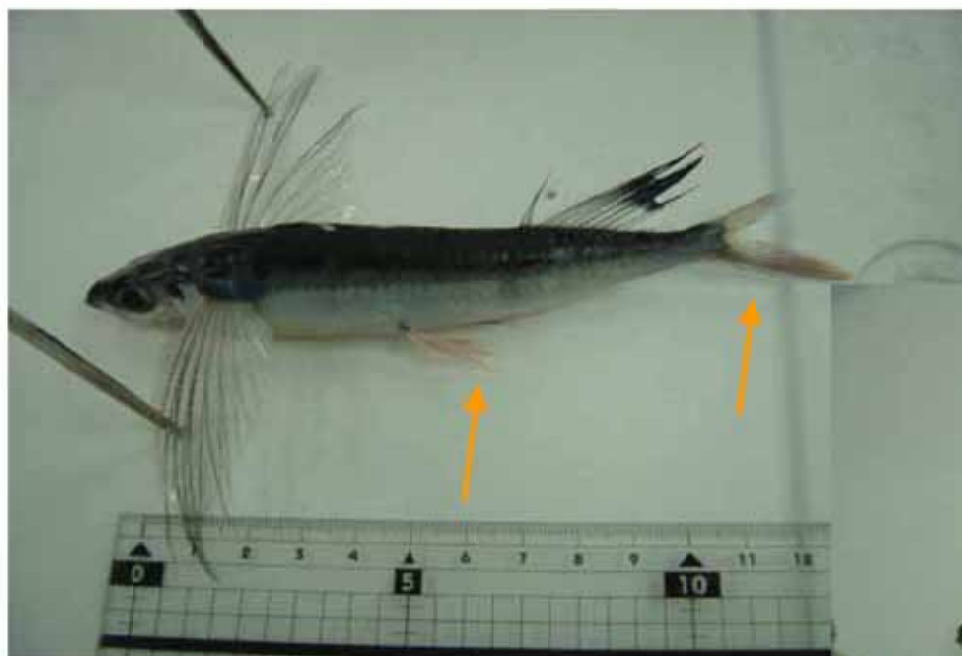
ツマリトビウオ(Parexocoetus brachypterus)



特徴

- ・体長10～15cmの小型のトビウオ
- ・胸鰭は無色透明, 背鰭は長く, 先端は黒色を呈する。
- ・熱帯, 亜熱帯に分布し, 希に南日本に出現する。

ツマリトビウオ



オス

腹鰭, 尾鰭に淡紅色あり



メス 淡紅色なし

アリアケトビウオ (Cypselurus starksi Abe)



特徴

- ・体長20～25cmの小型のトビウオ
- ・胸鰭は一様に暗黒色を呈する。下縁にわずかに透明域あり。
- ・台湾～黒潮流域に分布する。

アリアケトビウオ (Cypselurus starksi Abe)

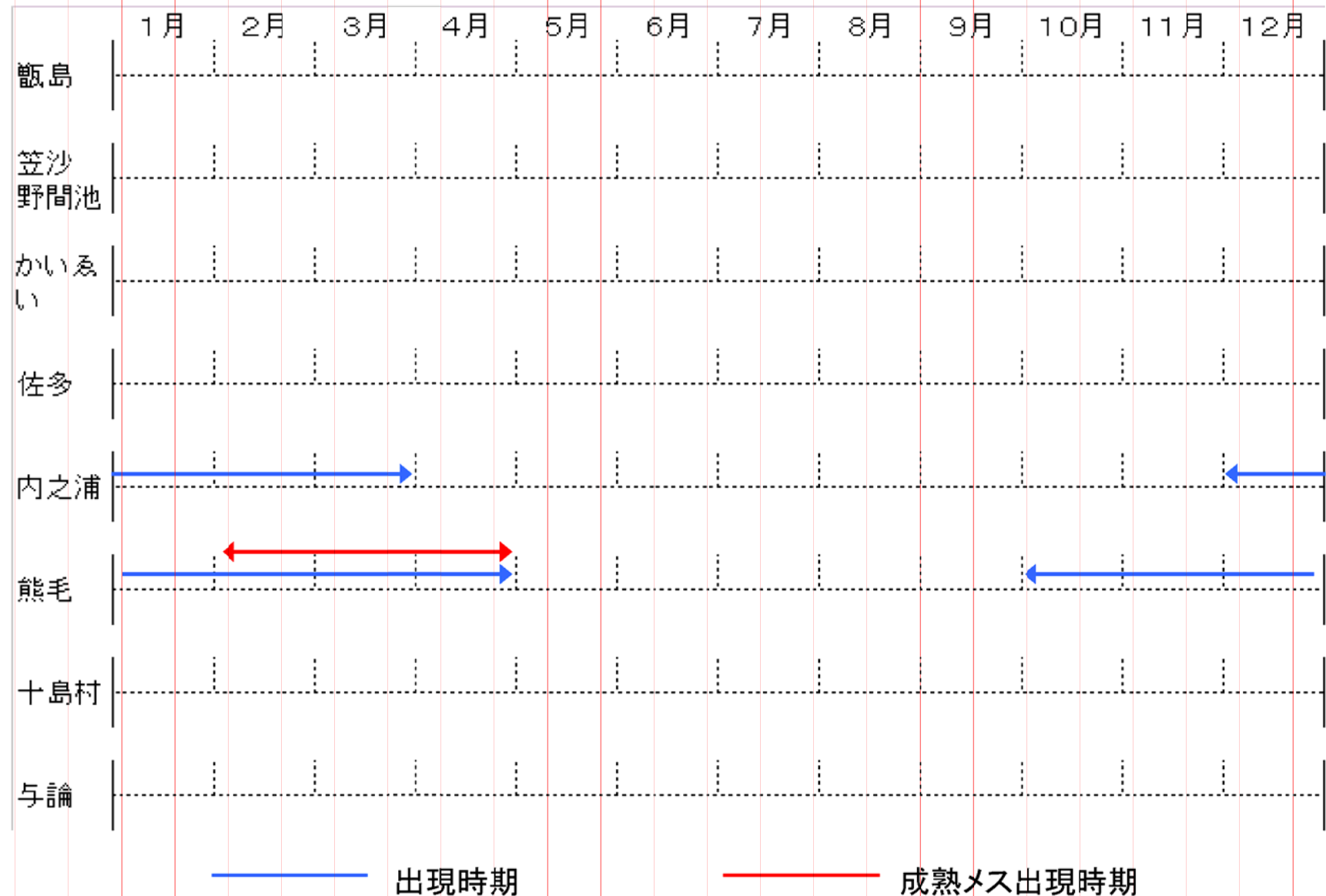


体は太く短く、
胸鰭は暗黒色

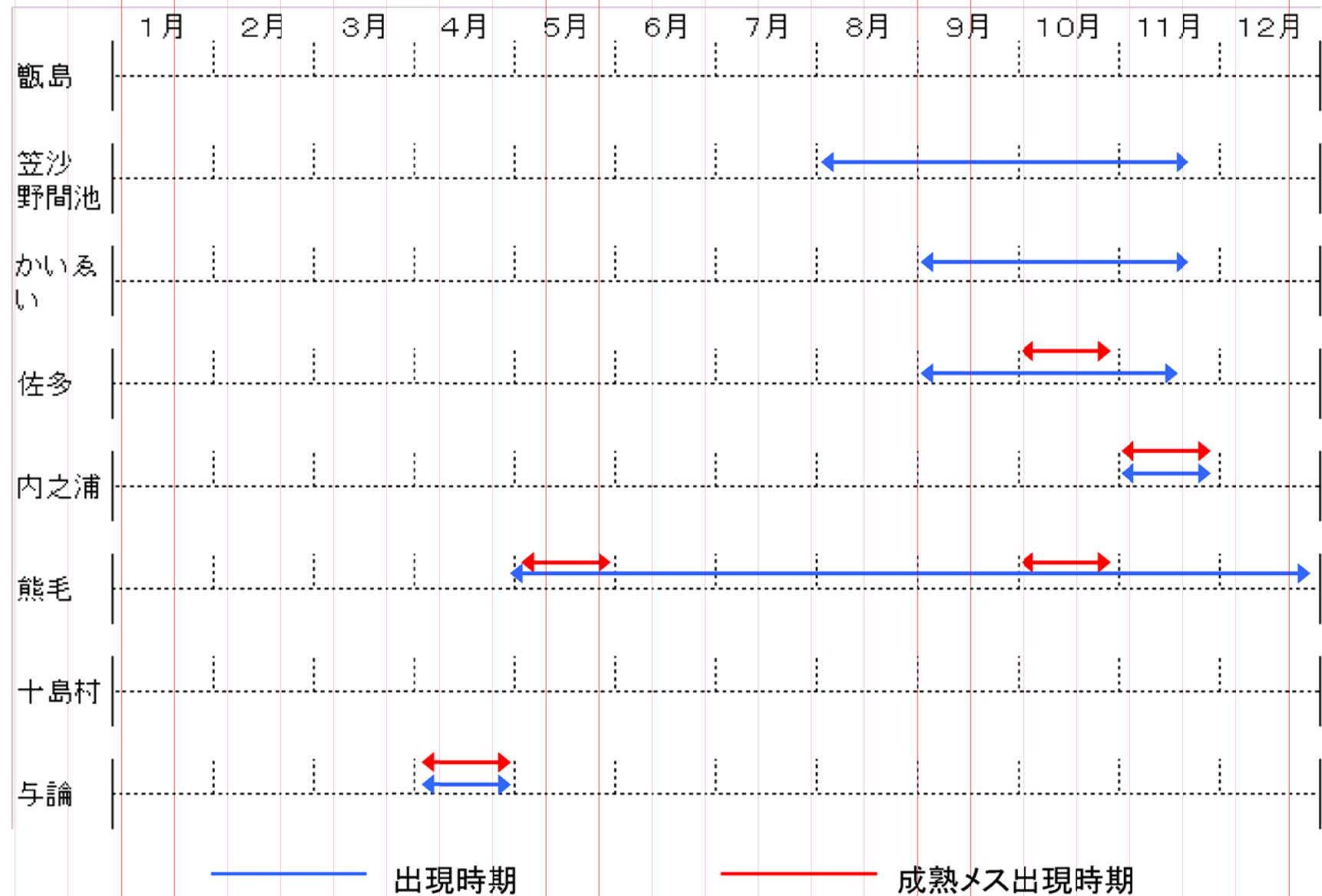
各トビウオ類の出現時期

※以下に示す出現時期は鹿児島県水産技術開発センターのサンプリングによるものであり、各文献等と若干異なっています。

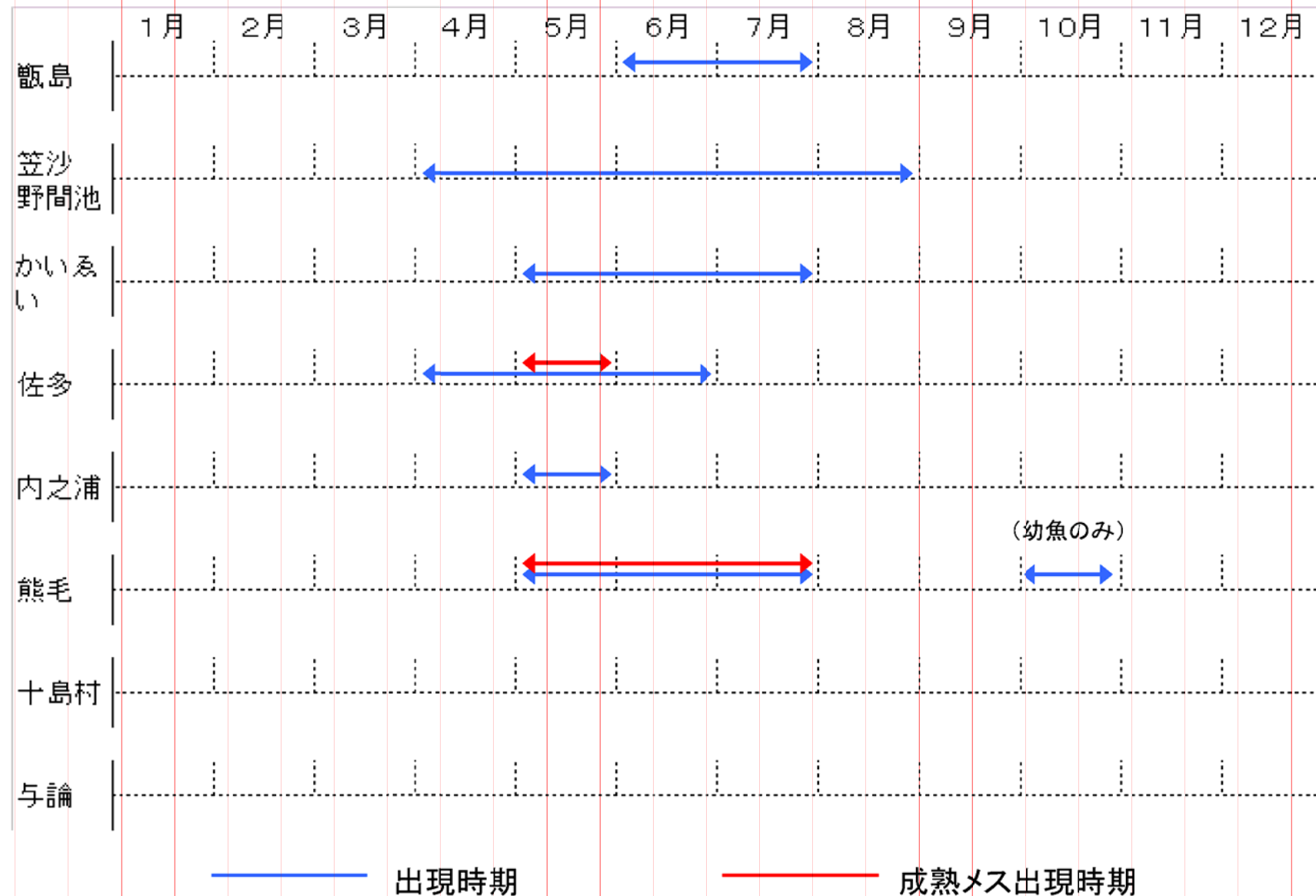
ハマトビウオの出現時期



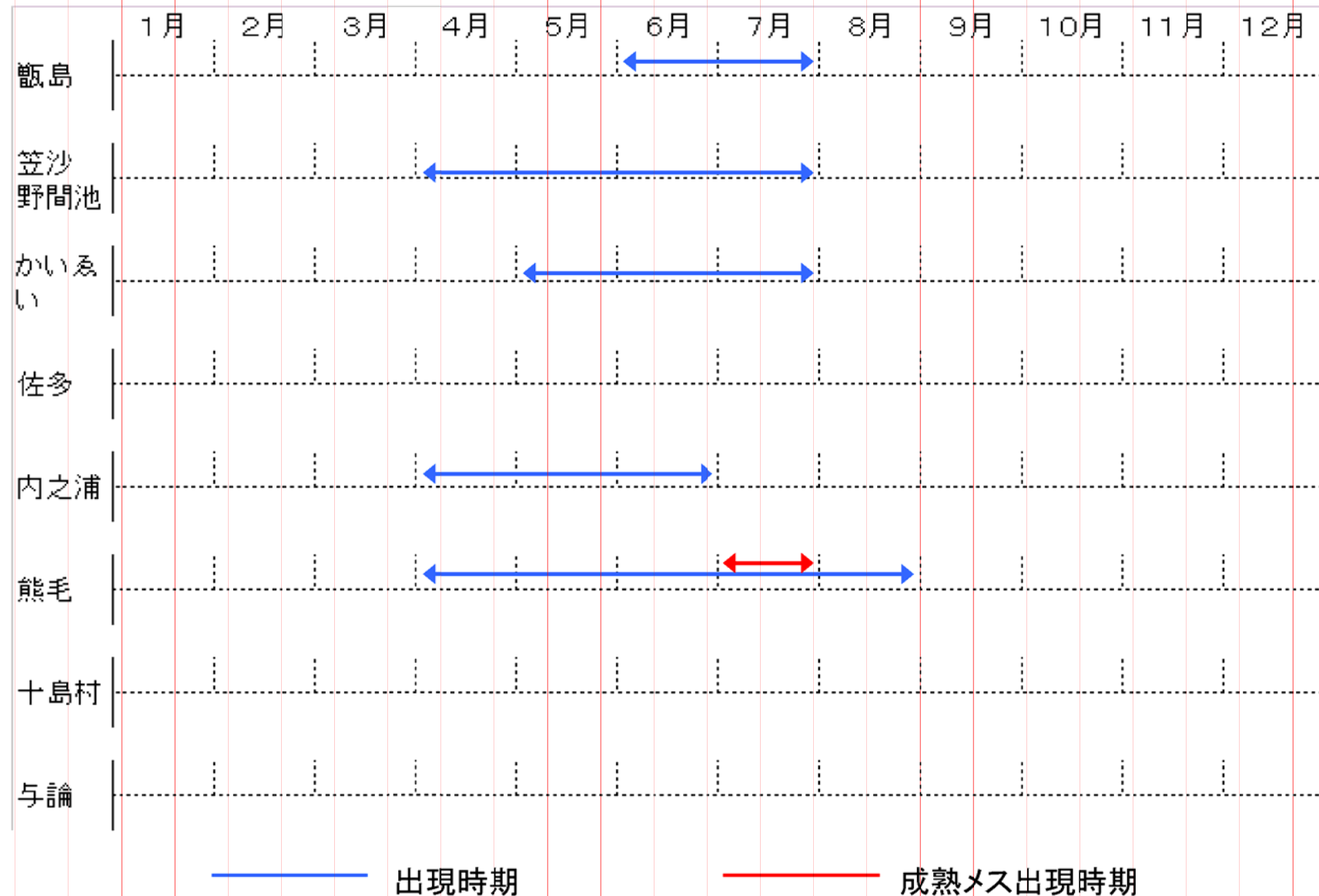
トビウオの出現時期



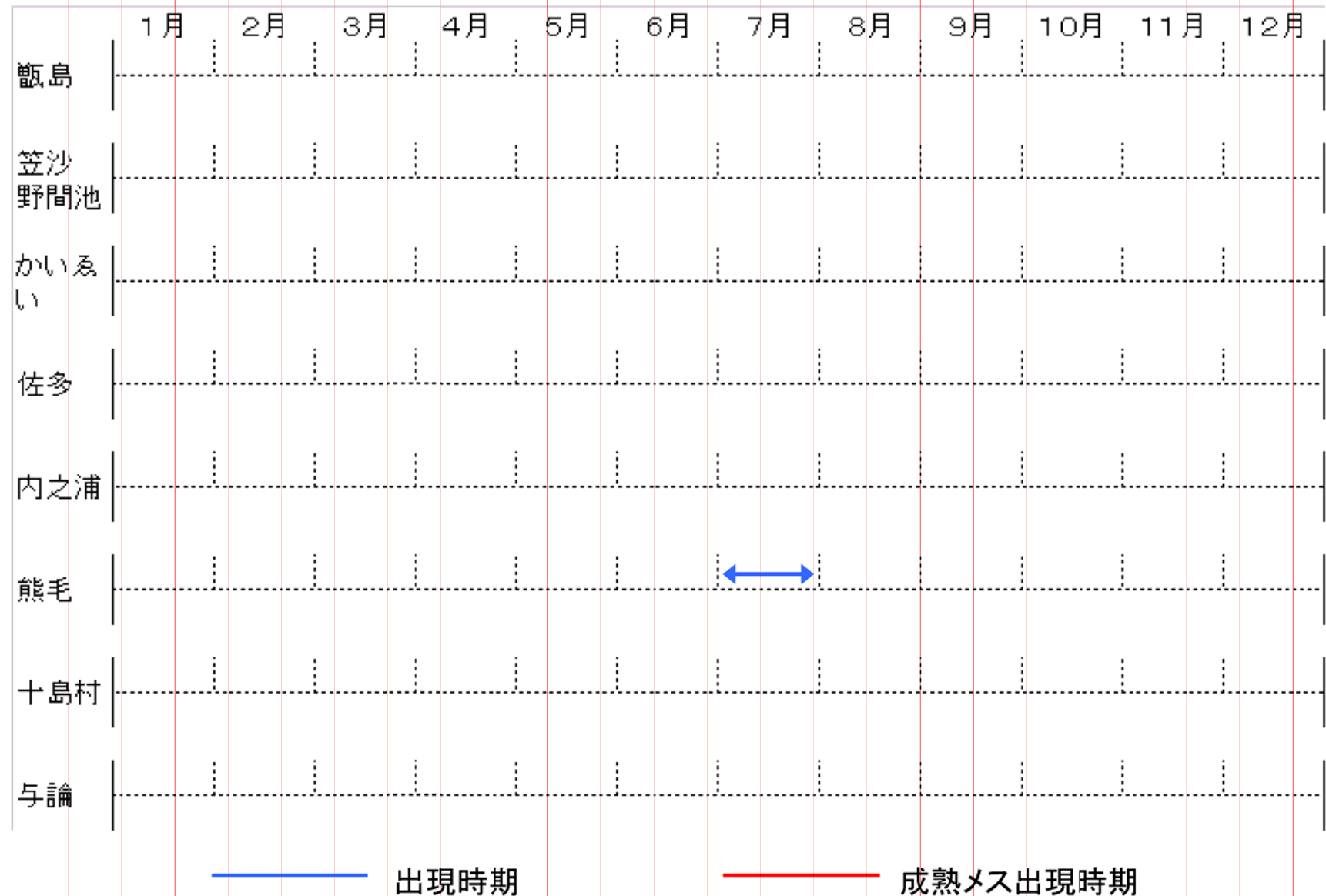
ツクシビウオの出現時期



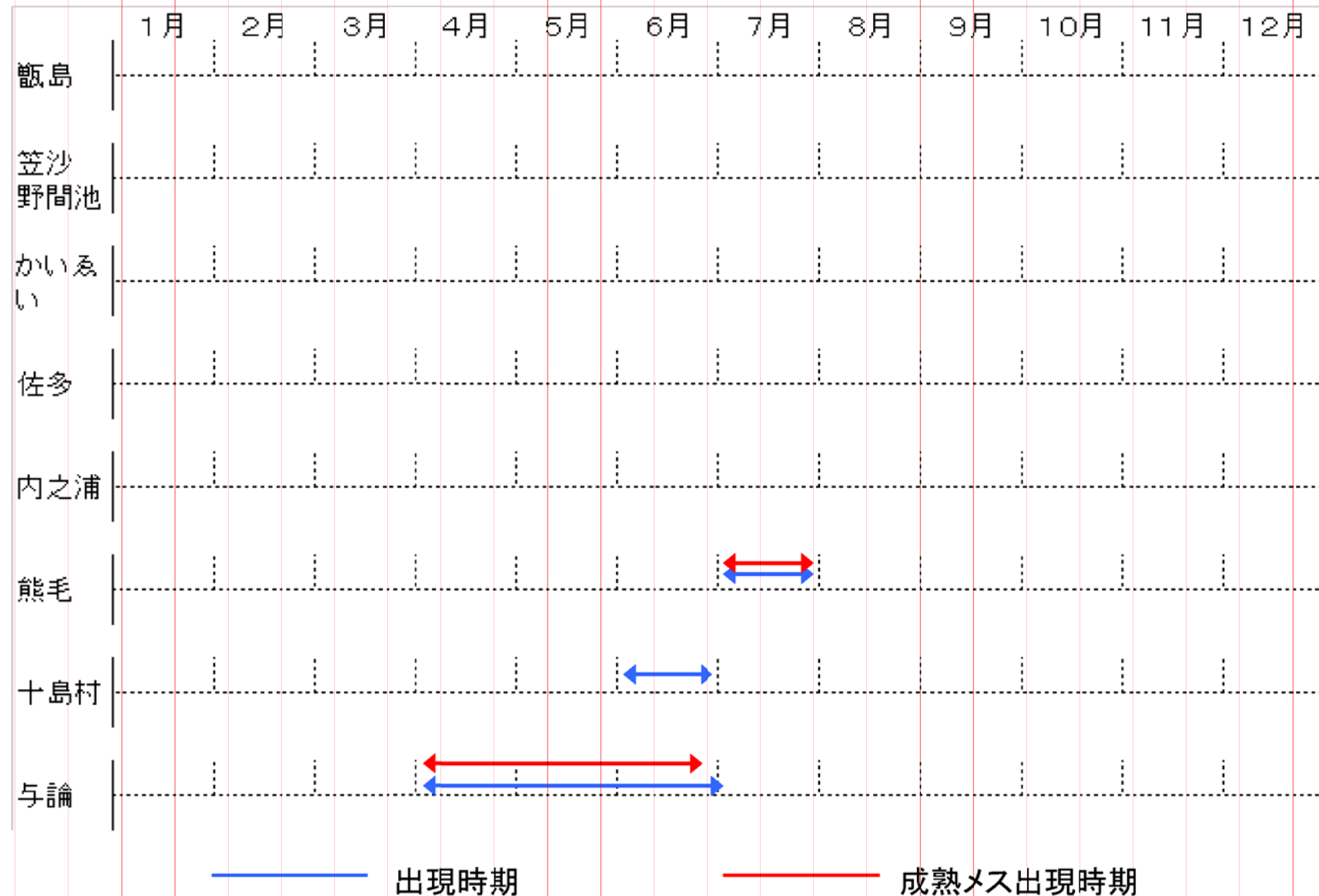
ホソビウオの出現時期



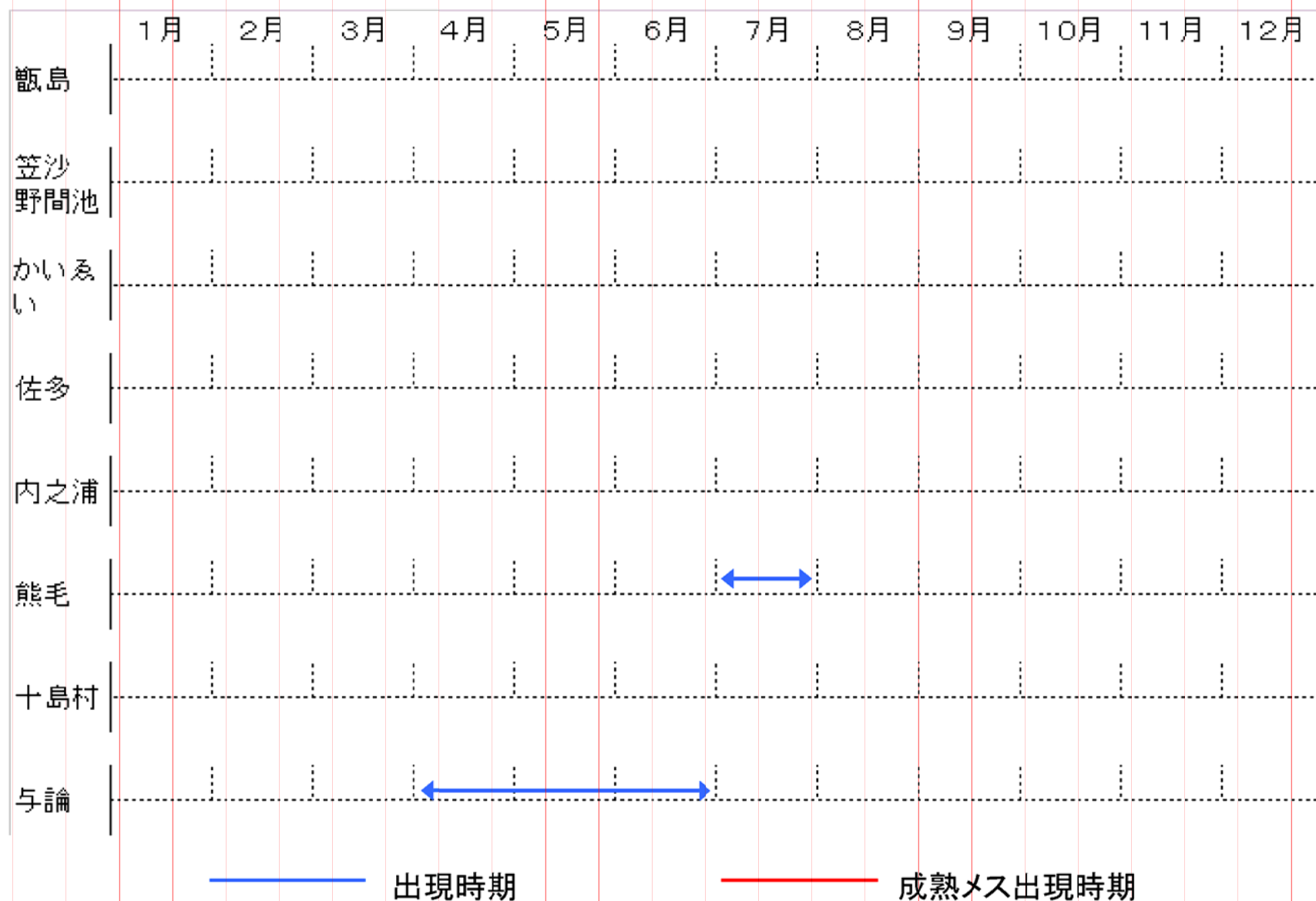
ホソアオトビの出現時期



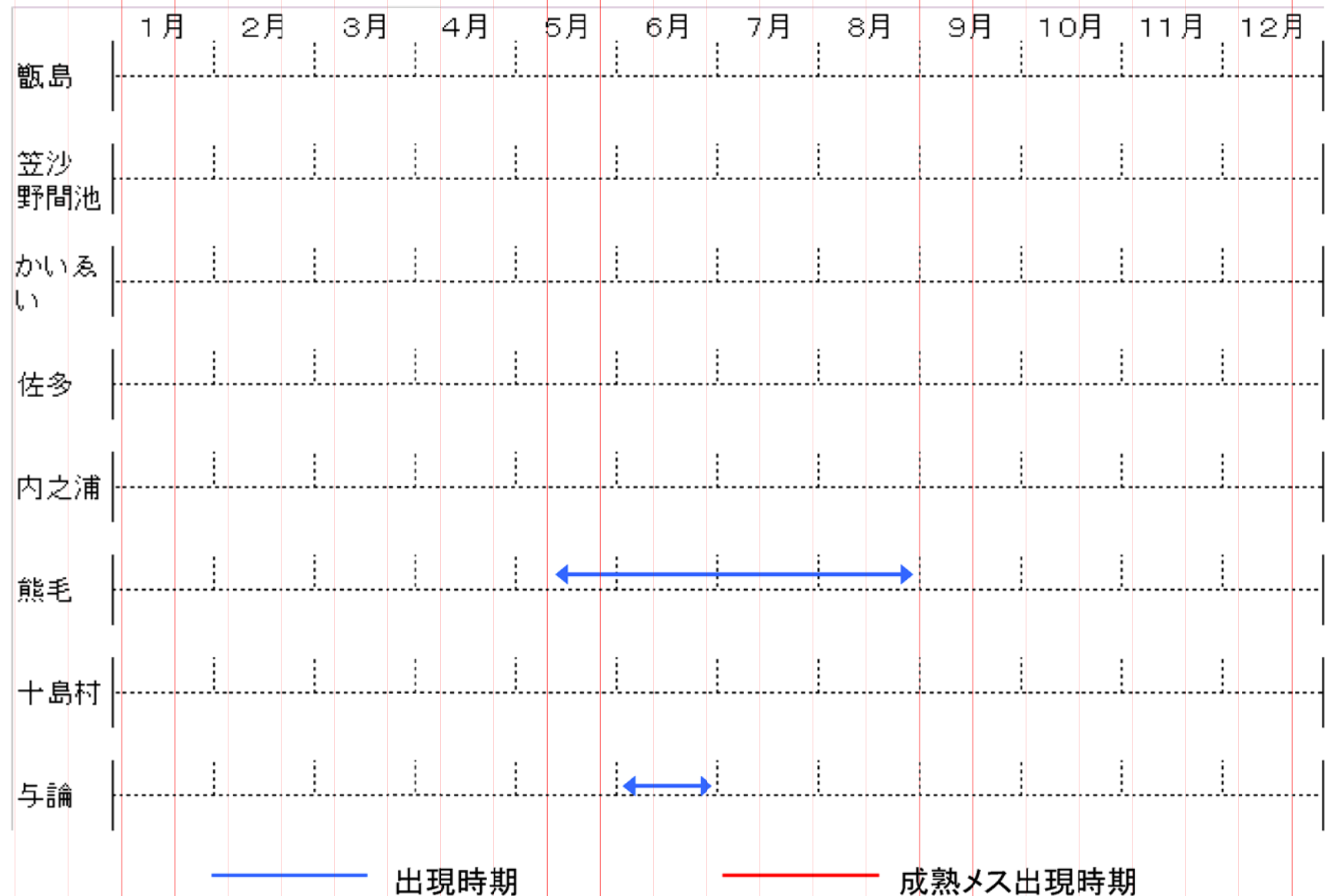
オオメナツビの出現時期



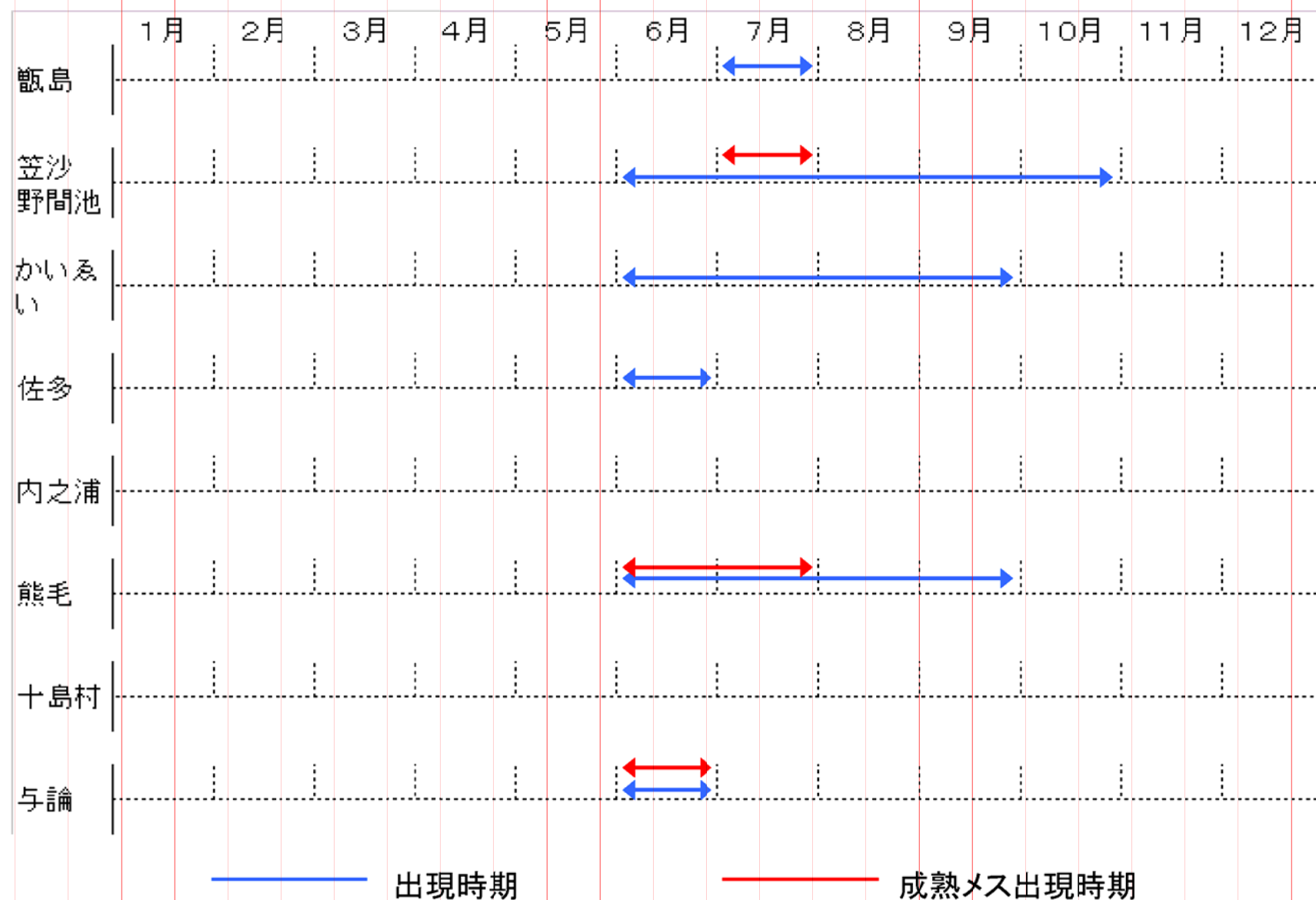
チャバネトビウオの出現時期



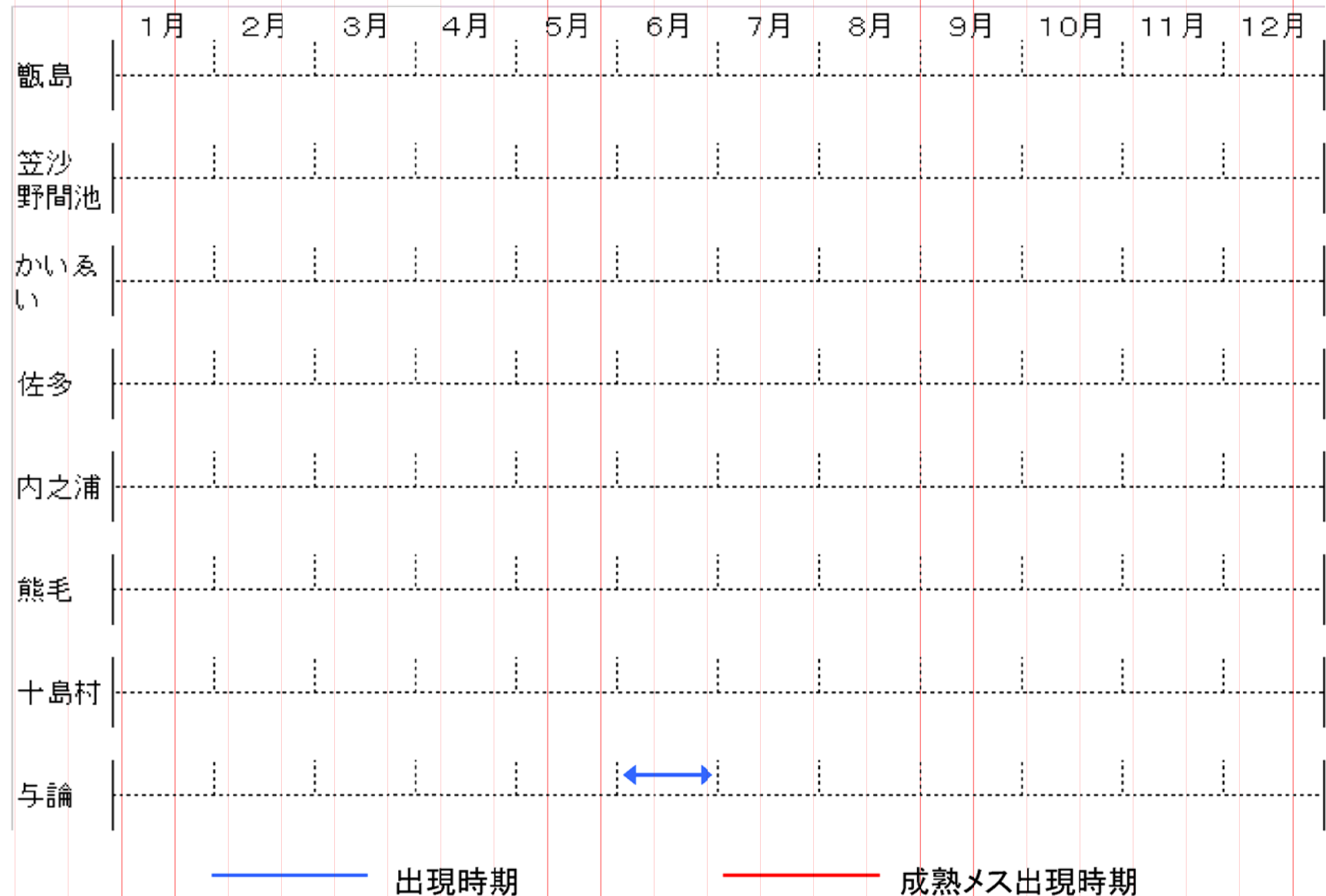
カラストビウオの出現時期



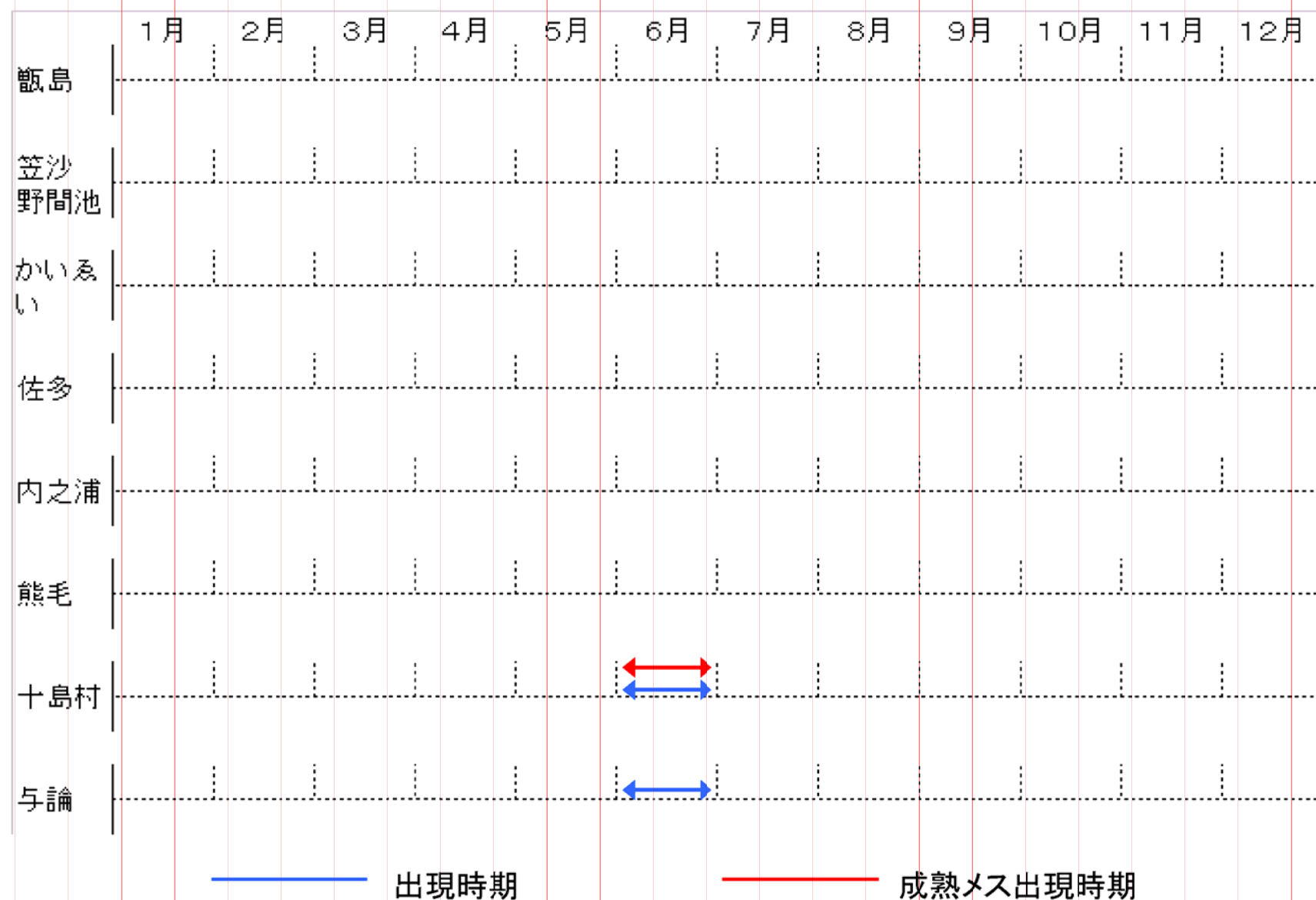
アヤトビウオの出現時期



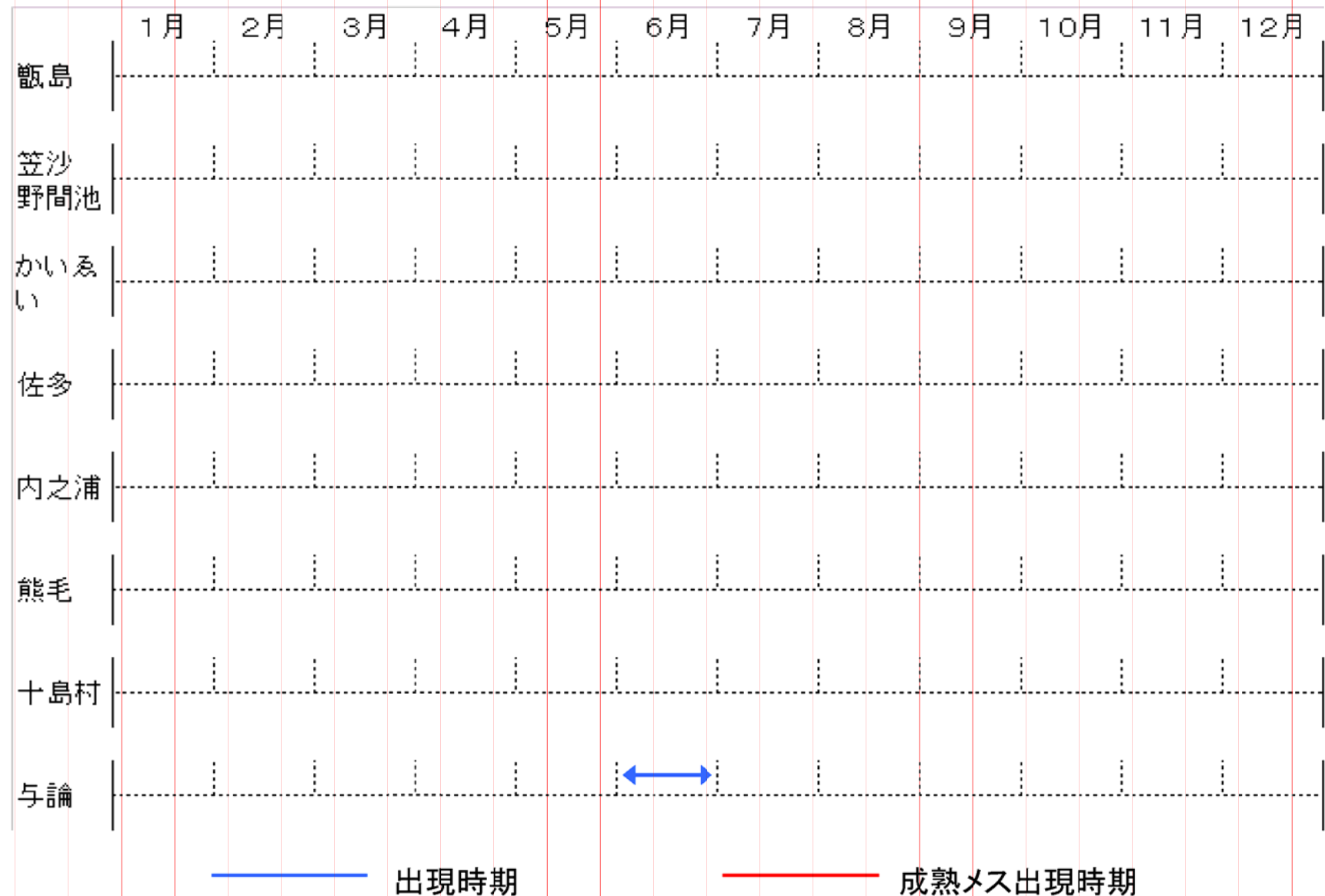
オオアカトビの出現時期



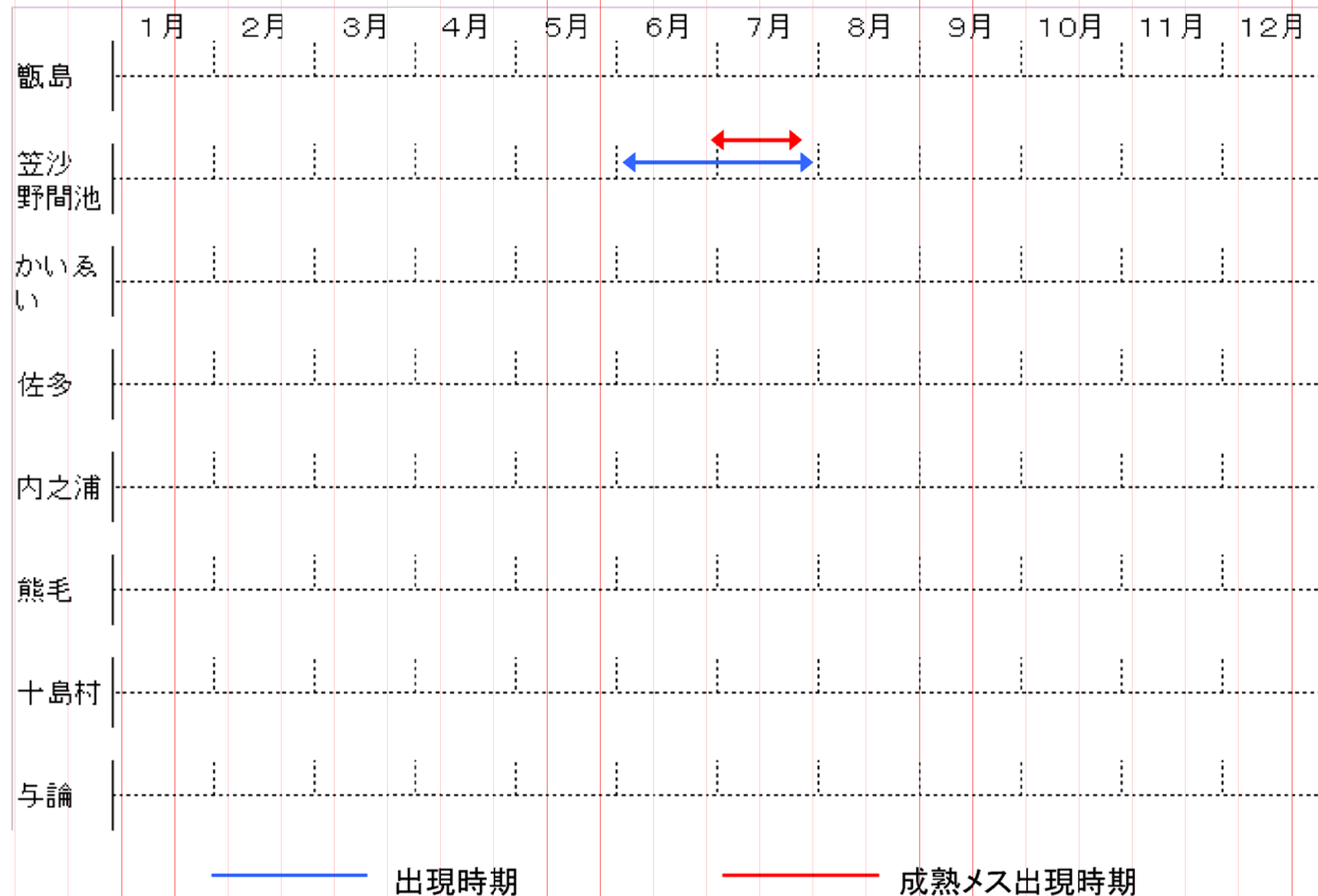
アカトビウオの出現時期



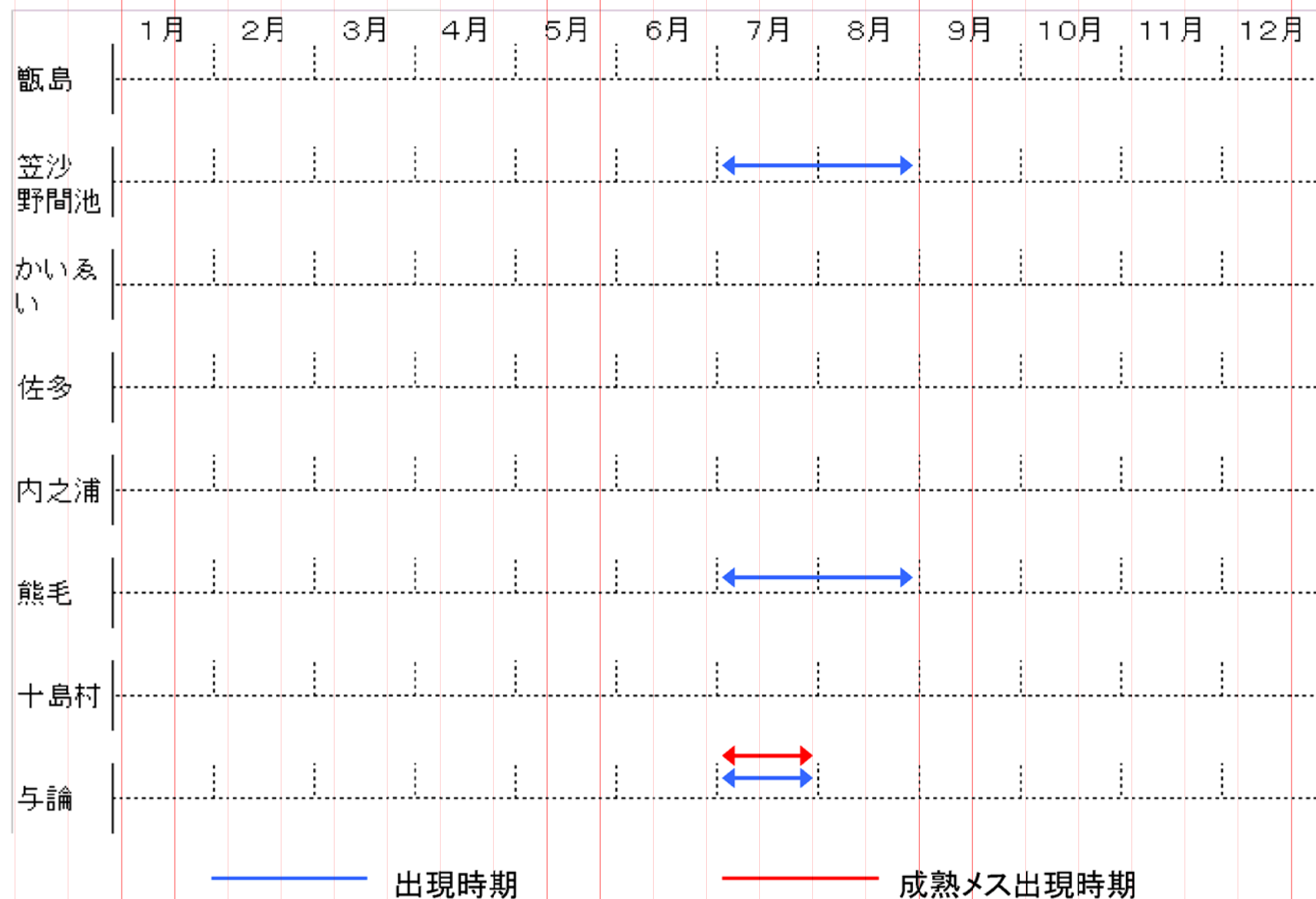
マトウビウオの出現時期



バショウトビウオの出現時期



ツマリトビウオの出現時期



アリアケトビウオの出現時期

